

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 生涯学習の充実

基本事業 生涯学習関連施設の充実

事業名 **公民館運営管理事業**

[0423]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>公民館</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>生涯学習活動の拠点として、施設の維持管理・運営を適切に行い、学習の支援の充実を図るとともに学習の機会(場)の提供を行う</p>
	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>施設の管理運営を指定管理者に委託する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	施設数	施設	3	3	3	3
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	84,823	85,257	85,084	78,850
活動指標2						
成果指標1	利用者数	人	214,806	216,308	217,448	220,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	85,879	86,107	86,030	80,710
正職員人件費 (B)		千円	2,512	2,090	2,075	2,082
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>88,391</b>	<b>88,197</b>	<b>88,105</b>	<b>82,792</b>

費用内訳	
21年度	需用費 946千円、委託料 85,084千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	法改正に伴い平成18年度より指定管理者による管理運営を導入した。 施設の老朽化や市民の学習要求の多様化等により、より適正かつ効率的な管理運営が求められてきている。
--------	--	-------------	--

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

### (1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・  
根拠は？

生涯学習の充実を図るうえで、市民に対して生涯学習の実践の場や学習機会の提供は必要不可欠であり、施設の運営管理事業は妥当である。

### (2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

・上位基本事業の達成のためには、生涯学習活動の拠点となる公民館の管理運営事業は必要不可欠である。  
 指定管理者制の導入により、公民館運営管理はもとより公民館事業の企画や運営の柔軟な対応が可能となり、より多くの市民の学習機会の提供が図られる。

### (3) 計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・  
根拠は？

指定管理者制の導入により、運営管理と事業企画、実施が総括的に実施され、より多くの利用者ニーズに応えられる。

### (4) 成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

平成18年度より指定管理者制が導入され、生涯学習施設の充実が図られつつあり、今後も指定管理者の適正かつ効率的な運営管理と斬新な事業企画により、より利用者ニーズに応えられ、市民サービスの向上が期待される。

### (5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算 + 所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・  
根拠は？

平成18年度より指定管理者制度を導入しており、急激なコスト削減は難しいが、今後とも指定管理者との協議調整を図り、管理運営の改善、工夫を含めた効率性を追求していく。